

令和4年12月13日
北九州空港機能強化・利用促進特別委員会
(港湾空港局空港企画課)

目次

- 1 ヤマトグループ貨物定期便の運航路線決定について(報告)
- 2 北九州空港における国際チャーター便の就航について(報告)

ヤマトグループ貨物定期便の運航路線決定について(報告)

令和6年4月に運航を開始するヤマトグループの貨物定期便の運航路線の決定について、令和4年11月22日にヤマトホールディングス株式会社と日本航空株式会社が報道発表を行った。

1 発表概要

- (1) 運航路線 ※当計画は関係当局への申請と認可を前提とする。
※令和6年4月エアバス A321neoP2F 型機3機稼働後の運航路線。
 - ・東京(成田/羽田) ⇄ **北九州**
 - ・沖縄(那覇) → **北九州**
- (2) 機材の受領・改修状況
 - ・3機のうち2機の受領を完了し、残り1機を令和5年2月に受領する予定。
 - ・旅客機から貨物機への改修作業を令和5年3月よりシンガポールにて順次開始する。
- (3) 運航会社の変更
 - ・スプリング・ジャパン株式会社に変更する。
- (4) 採用関連
 - ・令和6年の就航に向けて両社ともに、運航に関連する要員や、**各空港での貨物のハンドリング要員など、新規採用を進める。**

2 JAL・ヤマトHDによる「報道関係者向け補足説明会」での質疑応答(抜粋)

➤ 各路線の運航便数(予定)

質問：運航路線ごとの便数は決定しているのか。

回答：令和6年4月から運航する貨物機3機すべてが稼働した後は、1日あたり合計21便を計画している。このうち各路線の便数は次のとおり検討している。

- ① **東京(成田/羽田) ⇄ 北九州 4.5 往復(9便)/日**
- ② 東京(成田/羽田) ⇄ 札幌(新千歳) 5 往復(10便)/日
- ③ 東京(成田) → 沖縄(那覇) 0.5 往復(1便)/日
- ④ **沖縄(那覇) → 北九州 0.5 往復(1便)/日**

※「東京」は深夜早朝時間帯(23時から6時まで)は羽田空港を利用。

北九州空港の運航便数(予定)

- 東京 → 北九州 4便/日
- 北九州 → 東京 5便/日
- 沖縄 → 北九州 1便/日

1日あたり合計10便

※「東京⇄北九州」の単純往復路線と、「東京→沖縄→北九州→東京」の三角運航路線の2つの路線が決定している。

北九州空港における国際チャーター便の就航について(報告)

北九州空港における国際線の就航再開に向けて、令和4年11月30日に株式会社スターフライヤーが国際チャーター便の就航について報道発表を行った。

1 チャーター便の概要

(1)就航会社

株式会社スターフライヤー

(2)就航路線

北九州－台北（台湾）線

※コロナ前、同社が定期便を1日/1便運航していた実績有（H30.10.28～R2.3.10）

(3)就航時期

令和5年1月15日～令和5年2月13日

(4)就航便数

6往復

(5)タイムスケジュール

北九州着 5：50（1/15 1/20 1/25 1/30 2/4 2/9） ※台湾発2：30

北九州発 23：30（1/19 1/24 1/29 2/3 2/8 2/13） ※台湾着1：00

(6)その他

今回のチャーター便は、台湾出発のみを対象としたインバウンドチャーター（台湾側の旅行社での販売のみ）

2 その他の誘致状況

韓国など他の路線についても、定期便やチャーター便を含め、就航に向けて準備を進めている。